静岡理工科大学 SHIZUOKA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY



域創成フォ

平成29年 1 1月28日(火)13:30~19:00 ホテルクラウンパレス浜松 4F 芙蓉の間

静岡県浜松市中区板屋町110-17 TEL 053-452-5111

■ 主 催 静岡理工科大学・静岡理工科大学産学コラボネット

後 援 静岡県・浜松市・公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構・袋井市・磐田市・静岡市・浜松商工会議所・袋井商工会議所・ 磐田商工会議所・掛川商工会議所・静岡商工会議所・浅羽町商工会・磐田市商工会・三遠南信クラスター推進会議・浜松地域新産業創出会議・ 公益財団法人静岡県産業振興財団・静岡県中小企業団体中央会・袋井市産学官連携推進協議会・公益財団法人はましん地域振興財団

SOHEDULE スケジュール

12:30-13:30 受付

開会挨拶 13:30-13:45

第1部特別講演「凸版印刷における新事業への取り組み」 13:45-15:00

講師 凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション事業本部 ソーシャルビジネスセンター/公共ビジネス推進部 公共推進チーム 部長 真梶 重徳 氏

トッパンは1900年に創業し「印刷事業」を進化させると同時に事業拡大を推進する中で、マーケティングカ・ITカ、クリエイティブカなどの ナレッジを深耕させ、印刷だけでない幅広いソリューションを提供してきました。近年、少子高齢化やまちづくりなどの社会的課題が クローズアップされる中、政府が中心となり地域サービスや社会インフラの再構築が進められており、今後市民目線でのサービス イノベーションが期待されています。

本講演では「健康・ライフサイエンス」「教育・文化交流」「都市空間・モビリティ」「エネルギー・食料資源」の成長領域をフィールドに地方 創生をはじめ地域包括ケア、言語・文化の相互理解、観光振興、ICTまちづくりなど社会課題に対する、凸版印刷の取り組みをご紹介致します。



講師プロフィール

1986年 凸版印刷株式会社入社

TIC事業部にてクライアント企業のSP施策企画業務を担当

1996年~ マルチメディア事業部にて日本初のインターネット企業複合モール

「サイバー・パブリッシング・ジャパン」の企画運営に従事

2000年~ マルチメディア事業部にてインターネットを活用したクライアント企業のSP施策企画業務を担当 2002年~ Eビジネス推進本部、情報ビジネス開発本部にてVRを活用した新規ビジネスの立ち上げを担当

2006年~ 文化事業推進本部にて文化財のアーカイブ化およびコンテンツ化による新規ビジネス構築を推進

2012年~ 事業開発・研究本部にて自社保有技術を基にした新規事業モデルの構築を推進

2016年~ ソーシャルビジネスヤンター設立に伴い異動

同センターにて社会的課題に対応した新規サービスの構築に従事

15:05-15:25 第2部 静岡理丁科大学活動紹介

15:30-16:50 第3部 研究活動紹介

17:00-17:50 第4部 ブースにおける展示

18:00-19:00 第5部 懇談交流会

機械工学科 教授 增田 和三

静岡を変える航空宇宙科学技術の紹介

35年ぶりに故郷静岡に戻り、静岡に産業衰退や人口減少等の深刻な問題 が生じていることを知った。大学着任以来2年半、問題の一端を航空宇宙 科学技術にて解決することを大目標に据えて研究活動を展開、その活動 状況を紹介する。

物質生命科学科 講師 南齊 勉

超音波が誘起する微小気泡反応場の解析と応用

液体に高出力の超音波を照射すると、キャビテーションバブルと呼ばれる 数千度・数百気圧の局所的反応場が形成する。このユニークな反応場に 関して、これまでに明らかになってきたことや、今後の応用展開について 紹介する。

コンピュータシステム学科 講師 高野 敏明

手法を組み合わせて使う人工知能

人工知能は画像・音声認識、スケジューリング、予測、分析など多くの 課題に用いられてれいる。人工知能は便利なツールであり、使い方も自由 である。今回は人工知能を組み合わせて使うことについて考える。

静岡県工業技術研究所機械科主任研究員 柳原 亘氏

レーザー走査式三次元測定機の測定精度評価事例

レーザー走査式三次元測定機は、物体の形状を非接触で短時間に測定で きる装置である。本測定機は被測定物表面の色や粗さが測定精度に影響 すると考えられ、その検証結果を報告する。また、測定機の日常点検に 利用可能な標準器を作成したので併せて報告する。

電気電子工学科 准教授 加藤 丈和

需要家主体の次世代スマートエネルギーマネージメント

太陽光発電や蓄電池などの分散電源や電力自由化によって、個別化・複雑 化しつつある電力ネットワークの管理のために、家庭や地域における地産 地消を主体とした分散協調型の次世代スマート電力マネージメントシステム に関する取り組みについて紹介する。

建築学科 教授 佐藤 健司

建築のシンギュラリティをめざして

建築の様式は60年周期で古典主義とロマン主義を繰り返している。現在はポスト・ モダンという名のロマン主義の時代であるが、10年後の2028年ごろシンギュラ リティ(特異点)を迎える。そのころ、あらゆる分野でコンピュータが人間の知能を 凌駕する。テクノロジーの特異点が建築や都市に変革に迫ることを紹介する。

情報デザイン学科 講師 松田 崇

ヴィジュアル・コミュニケーションの実践

地域企業の持っている技術や機材をヴィジュアル・コミュニケーションに おけるグラフィックデザインの制作に活用することで、その技術と機材の 新たな魅力と発展に向けた試みについて紹介する。

工業技術研究所 浜松工業技術支援センター 光科 上席研究員 鷺坂 芳弘 氏

フェムト秒レーザーピーンフォーミングによる薄板曲げの曲げ効率向上

超短パルスレーザーの集光照射によって衝撃波を誘起できる。この現象を 非接触ダイレスの薄板曲げに応用し、微細部品の成形を検討してきた。 本報ではレーザーの走査方法で成形効率を約40%向上した事例を紹介 する。

研究内容に関するバネル展示等 静岡県の公設試験研究機関(以下のとおり)及び本学教員の研究内容等をパネル展示等で紹介します。 静岡県/工業技術研究所/農林技術研究所/トッパングループ/袋井市 浜松市/公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

懇談交流会

本学教員との交流の場としてご活用ください。

《参加お申込みについて》下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX又はE-mailにてお申込みください。

FAX:0538-45-0110 E-mail:c-news@sist.ac.jp

静岡理工科大学 地域創成フォーラム 参加申込書

※ご記入いただいた個人情報は、本フォーラム開催の業務以外には、利用いたしません。

企業・団体名			TEL·FAX	
所在地	Ŧ			
所 属				
氏 名				
懇談交流会	参加 · 不参加	参加		 参加 · 不参加

参加費 懇談交流会参加者のみ4,000円(1名)(その他のプログラムは無料です。)参加費は、当日会場でお支払ください。